

令和 2 年 12 月 25 日
令和 4 年 10 月 4 日改定
気 象 庁 大 気 海 洋 部

配信資料に関する仕様 No. 13302

～地域気象観測統計値～

地域気象観測統計値は、地域気象観測地点で観測した値を統計したデータです。

1. 気象情報の仕様

気象情報の名称	地域気象観測統計値ファイル
ファイル名	別紙参照
統計開始年	観測開始以降（地点により異なる）
対象観測所	地域気象観測の全地点
ファイル形式	別紙参照
フォーマット	別紙参照
ファイルサイズ	別紙参照
配信時刻	03:10 頃（日本時（JST））

2. その他

「気象観測統計の解説」気象庁ホームページ（以下 URL）に掲載しています。
<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/kaisetu/index.html>

地域気象観測（アメダス） 統計値ファイル フォーマット表

気象庁大気海洋部観測整備計画課
2022.10.04 版

ファイル一覧

ディレクトリ構造とファイル名	内容	記録形式
10min_hour — YYYY — MM — amd_10minhour_YYYYMM.SSSSS	アメダス 10 分・時別値ファイル	バイナリ
day — YYYY — MM — amd_day_YYYYMM.SSSSS	アメダス日別値ファイル	バイナリ
10day_monthly — YYYY — areaFF — a10dmYYYY.SSSSS	アメダス旬・月別値ファイル	バイナリ
amdmaster.index3	アメダス地点情報ファイル (アメダスデータ等統合処理システム移行地点一覧)	テキスト
amdmaster.index4	アメダス地点情報履歴ファイル	テキスト

※YYYY：西暦年、MM：月、DD：日、SSSSS：観測所番号

アメダス気象観測 10 分・時別値ファイル

■収録内容

アメダス 10 分・時別値データを 1 ヶ月 1 地点 1 ファイルごとに収録している。

■ファイル名

amd_10minhour_YYYYMM.SSSSS (YYYY : 西暦年、MM : 月、SSSSS : 観測所番号)

■レコード仕様

記録形式 : バイナリ形式 (バイトオーダー : リトルエンディアン)

ソート順序 : 観測時刻順

ファイルサイズ : 400 バイト×6×24×月の日数 (28 日 1,612,800 バイト～31 日 : 1,785,600 バイト)

■記録形式

◆ファイル全体構造

項目	1 日 00 時 10 分のレコード	1 日 00 時 20 分のレコード		末日 23 時 50 分のレコード	末日 24 時 00 分のレコード
バイト数	400	400		400	400

◆レコード全体構造

観測項目名	地点情報	雨	風	気温	日照	予備	積雪	予備	湿度	予備
バイト数	50	52	84	40	20	32	16	50	40	16
開始バイト	1	51	103	187	227	247	279	295	345	385

観測項目名	地点情報								
詳細項目	機関番号	観測所番号 (上 2 桁)	観測所番号 (下 3 桁)	観測所種別	緯度	経度	標高	雨量計地上の高 さ	風向風速計の高 さ
単位					度+0.1 分	度+0.1 分	0.1m	0.1m	0.1m
バイト数	2	2	4	2	4	4	2	2	2
開始バイト	1	3	5	9	11	15	19	21	23

(緯度・経度)度を 100 倍したものに、分(0.1 分単位)を加算する。
 例 : 42 度 51.7 分→4251.7 値を 10 倍し 42517 が入っている。
 (標高)2000m を加算したものを 10 倍している。
 例 : 2.1m→値に 2000m を加算し、10 倍した 20021 が入っている。

地点情報									
温度計地上の高さ	予備	予備	予備	予備	予備	予備	予備	年	月
0.1m									
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
25	27	29	31	33	35	37	39	41	43

地点情報			雨						
日	時	分	降水積算カウンタ	10 分間降水量	利用フラグ	予備	予備	1 時間降水量	利用フラグ
				0.1mm				0.1mm	
2	2	2	4	4	1	1	2	4	1
45	47	49	51	55	59	60	61	63	67

雨									
予備	予備	最大 10 分間降水量（前 10 分間）	利用フラグ	予備	予備	最大 10 分間降水量（前 10 分間）起時 HH	最大 10 分間降水量（前 10 分間）起時 MM	最大 1 時間降水量（前 10 分間）	利用フラグ
		0.1mm				時	分	0.1mm	
1	2	4	1	1	2	4	4	4	1
68	69	71	75	76	77	79	83	87	91

雨				風					
予備	予備	最大 1 時間降水量（前 10 分間）起時 HH	最大 1 時間降水量（前 10 分間）起時 MM	最大瞬間風速（前 10 分間）	利用フラグ	予備	予備	最大瞬間風速（前 10 分間）の風向（16 方位）※1	最大瞬間風速（前 10 分間）の風向（36 方位）※1
		時	分	0.1m/s					
1	2	4	4	4	1	1	2	4	4
92	93	95	99	103	107	108	109	111	115

風									
最大瞬間風速（前 10 分間）の起時 HH	最大瞬間風速（前 10 分間）の起時 MM	平均風向（前 10 分間のベクトル平均）（16 方位）	利用フラグ	予備	予備	平均風向（前 10 分間のベクトル平均）（36 方位）	利用フラグ	予備	予備
時	分								
4	4	4	1	1	2	4	1	1	2
119	123	127	131	132	133	135	139	140	141

風									
風程カウンタ	利用フラグ	予備	予備	風程有効データ数	平均風速（10分移動平均）	利用フラグ	予備	予備	最大風速（前10分間）
					0.1m/s				0.1m/s
4	1	1	2	4	4	1	1	2	4
143	147	148	149	151	155	159	160	161	163

風							気温		
利用フラグ	予備	予備	最大風速（前10分間）の風向（16方位）	最大風速（前10分間）の風向（36方位）	最大風速（前10分間）の起時 HH	最大風速（前10分間）の起時 MM	気温	利用フラグ	予備
					時	分	0.1℃		
1	1	2	4	4	4	4	4	1	1
167	168	169	171	175	179	183	187	191	192

気温									
予備	最高気温（前10分間）	利用フラグ	予備	予備	最高気温（前10分間）起時 HH	最高気温（前10分間）起時 MM	最低気温（前10分間）	利用フラグ	予備
	0.1℃				時	分	0.1℃		
2	4	1	1	2	4	4	4	1	1
193	195	199	200	201	203	207	211	215	216

気温			日照						
予備	最低気温（前10分間）起時 HH	最低気温（前10分間）起時 MM	日照積算カウンタ	10分間日照時間	利用フラグ	予備	予備	1時間日照時間	利用フラグ
	時	分		1 s				0.1 h	
2	4	4	4	4	1	1	2	4	1
217	219	223	227	231	235	236	237	239	243

日照		予備	積雪						
予備	予備		積雪の深さ	利用フラグ	予備	予備	積雪の深さの前1時間差	利用フラグ	予備
			cm				cm		
1	2	32	4	1	1	2	4	1	1
244	245	247	279	283	284	285	287	291	292

積雪	予備	湿度							
予備		相対湿度	利用フラグ	予備	予備	最小相対湿度 (前 10 分間)	利用フラグ	予備	予備
		%				%			
2	50	4	1	1	2	4	1	1	2
293	295	345	349	350	351	353	357	358	359

湿度									
最小湿度（前 10 分間）起時 HH	最小湿度（前 10 分間）起時 MM	蒸気圧	利用フラグ	予備	予備	露点温度	利用フラグ	予備	予備
時	分	0.1hPa				0.1℃			
4	4	4	1	1	2	4	1	1	2
361	365	369	373	374	375	377	381	382	383

予備
16
385

◆説明

◇機関番号：気象庁による観測は常に 1

◇観測所種別：下表のとおり

コード	観測所種別
0	地上気象観測実施地点
1	それ以外

◇風向 16 方位対応表（静穏は平均風速 0.2m/s 以下）

コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
風向	静穏	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N

◇利用フラグ

値	品質	現象なし区別	品質の意味	統計値区分
0、1	正常	数値	観測・統計値の品質は正常である	正常値
2、3		現象なし		
4、5	正常(推計値)	数値	観測・統計値の品質は正常(推計値)である	
6、7		現象なし		
8、9	準正常 (やや疑わしい)	数値	観測・統計結果にやや疑問がある、または統計対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている	準正常値
10、11		現象なし		
12、13	準正常(推計値) (やや疑わしい)	数値	観測・統計結果にやや疑問がある、または統計対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている(推計値)	
14、15		現象なし		
32、33	観測値は期間内で資料数が不足している	数値	統計対象となる資料の一部が許容する範囲内を超えて欠けている	資料不足値
34、35		現象なし		
36、37	観測値は期間内で資料数が不足している(推計値)	数値	統計対象となる資料の一部が許容する範囲内を超えて欠けている(推計値)	
38、39		現象なし		
16、17	非常に疑わしい	数値	観測・統計結果にかなり疑問がある	疑問値
18、19		現象なし		
24、25	利用に適さない	数値	休止や測器の故障等により観測・統計値が得られない、または誤差が大きく明らかに間違いだと判断される	欠測
26、27		現象なし		
40～43	計画休止のため欠測	－		
48～51	障害のため欠測	－		
52～55	障害のため欠測(推計値)	－	観測機器の故障等により統計値が得られない、または誤差が大きく明らかに間違いだと判断される	－
56～59	この要素は観測していない	－	この要素は観測していない	
127	(未作成)			

データを取得できなかった時には、初期値（大きさが1バイトの項目：127、2バイトの項目：32, 767、4バイトの項目：2, 147, 483, 647）が格納されている。
 日照の利用フラグが推計値の場合には、日照積算カウンタは初期値（2, 147, 483, 647）が格納されている。

アメダス 日別値ファイル

■収録内容

アメダスで、1ヶ月に観測された地上気象観測の日別統計値を、観測地点別に収録している。

■ファイル名

amd_day_YYYYMM.SSSSS (YYYY：西暦年、MM：月、SSSSS：観測所番号)

■レコード仕様

記録形式：バイナリ形式（バイトオーダー：リトルエンディアン）

ソート順序：観測日順

ファイルサイズ：1日 1454 バイト×31日 45,074 バイト

■記録形式

◆ファイル全体構造

項目	1日のレコード	2日のレコード		31日のレコード
バイト数	1454	1454		1454

◆レコード構造

項目	機関番号	観測所番号 (上2桁)	観測所番号 (下3桁)	年	月	日	予備	雨				
								日降水量	利用フラグ	予備	予備	日最大10 分間降水 量
単位								0.1mm				0.1mm
バイト数	2	2	4	2	2	2	20	4	1	1	2	4
開始バイト数	1	3	5	9	11	13	15	35	39	40	41	43

項目	雨											
	利用フラグ	予備	予備	日最大10 分間降水量 起時 HH	日最大10 分間降水量 起時 MM	利用フラグ	予備	予備	日最大1 時間降水 量	利用フラグ	予備	予備
				時	分				0.1mm			
バイト数	1	1	2	4	4	1	1	2	4	1	1	2
開始バイト数	47	48	49	51	55	59	60	61	63	67	68	69

項目	雨						風					
	日最大1時間降水量 起時HH	日最大1時間降水量 起時MM	利用フラグ	予備	予備	予備	日平均風速	利用フラグ	予備	予備	日最大瞬間風速	利用フラグ
単位	時	分					0.1m/s				0.1m/s	
バイト数	4	4	1	1	2	160	4	1	1	2	4	1
開始バイト数	71	75	79	80	81	83	243	247	248	249	251	255

項目	風											
	予備	予備	日最大瞬間風速の風向 (16 方位)	日最大瞬間風速の風向 (36 方位)	利用フラグ ※1	予備	予備	日最大瞬間風速の起時 HH	日最大瞬間風速の起時 MM	利用フラグ	予備	予備
単位								時	分			
バイト数	1	2	4	4	1	1	2	4	4	1	1	2
開始バイト数	256	257	259	263	267	268	269	271	275	279	280	281

項目	風											
	日最大風速	利用フラグ	予備	予備	日最大風速の風向(16 方位)	日最大風速の風向(36 方位)	利用フラグ ※2	予備	予備	日最大風速の起時 HH	日最大風速の起時 MM	利用フラグ
単位	0.1m/s									時	分	
バイト数	4	1	1	2	4	4	1	1	2	4	4	1
開始バイト数	283	287	288	289	291	295	299	300	301	303	307	311

項目	風							気温				
	予備	予備	日最多風向 (16 方位)	利用フラグ	予備	予備	予備	日平均気温	利用フラグ	予備	予備	日最高気温
単位								0.1℃				0.1℃
バイト数	1	2	4	1	1	2	80	4	1	1	2	4
開始バイト数	312	313	315	319	320	321	323	403	407	408	409	411

項目	気温											
	利用フラグ	予備	予備	日最高気温 起時 HH	日最高気温 起時 MM	利用フラグ	予備	予備	日最低気温	利用フラグ	予備	予備
単位				時	分				0.1℃			
バイト数	1	1	2	4	4	1	1	2	4	1	1	2
開始バイト数	415	416	417	419	423	427	428	429	431	435	436	437

項目	気温						日照					予備
	日最低気温 起時 HH	日最低気温 起時 MM	利用フラグ	予備	予備	予備	日照時間日 合計	利用フラグ	予備	予備	予備	
単位	時	分					0.1 h					
バイト数	4	4	1	1	2	80	4	1	1	2	80	96
開始バイト数	439	443	447	448	449	451	531	535	536	537	539	619

項目	積雪											
	日最深積雪	利用フラグ	予備	予備	日最深積雪 起時 HH	日最深積雪 起時 MM	利用フラグ	予備	予備	積雪前 1 時間差日 合計	利用フラ グ	予備
単位	cm				時	分				cm		
バイト数	4	1	1	2	4	4	1	1	2	4	1	1
開始バイト数	715	719	720	721	723	727	731	732	733	735	739	740

項目	積雪		予備	予備	湿度							
	予備	予備			日平均相対 湿度	利用フラグ	予備	予備	日最小相 対湿度	利用フラ グ	予備	予備
単位					%				%			
バイト数	2	80	36	80	4	1	1	2	4	1	1	2
開始バイト数	741	743	823	859	939	943	944	945	947	951	952	953

項目	湿度										予備
	日最小相対 湿度起時 HH	日最小相対 湿度起時 MM	利用フラグ	予備	予備	日平均蒸気 圧	利用フラグ	予備	予備	予備	
単位	時					0.1hPa					
バイト数	4	4	1	1	2	4	1	1	2	80	400
開始バイト数	955	959	963	964	965	967	971	972	973	975	1055

◆説明

◇機関番号：気象庁による観測は常に1

◇風向 16 方位対応表（静穏は平均風速 0.2m/s 以下）

コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
風向	静穏	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N

◇利用フラグ

値	品質	現象なし区別	品質の意味	統計値区分
0、1	正常	数値	観測・統計値の品質は正常である	正常値
2、3		現象なし		
4、5	正常(推計値)	数値	観測・統計値の品質は正常(推計値)である	
6、7		現象なし		
8、9	準正常 (やや疑わしい)	数値	観測・統計結果にやや疑問がある、または統計対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている	準正常値
10、11		現象なし		
12、13	準正常(推計値) (やや疑わしい)	数値	観測・統計結果にやや疑問がある、または統計対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている(推計値)	
14、15		現象なし		
32、33	観測値は期間内で資料数が不足している	数値	統計対象となる資料の一部が許容する範囲内を超えて欠けている	資料不足値
34、35		現象なし		
36、37	観測値は期間内で資料数が不足している(推計値)	数値	統計対象となる資料の一部が許容する範囲内を超えて欠けている(推計値)	
38、39		現象なし		
16、17	非常に疑わしい	数値	観測・統計結果にかなり疑問がある	疑問値
18、19		現象なし		
24、25	利用に適さない	数値	休止や測器の故障等により観測・統計値が得られない、または誤差が大きく明らかに間違いだと判断される	欠測
26、27		現象なし		
40～43	計画休止のため欠測	－		
48～51	障害のため欠測	－		
52～55	障害のため欠測(推計値)	－	観測機器の故障等により統計値が得られない、または誤差が大きく明らかに間違いだと判断される	
56～59	この要素は観測していない	－	この要素は観測していない	
127	(未作成)			

※1 日最大瞬間風速の風向に、1～16（16 方位）、1～36（36 方位）以外の値が格納されている場合は、利用フラグに関わらず欠測である。

※2 日最大風速の風向に、0～16（16 方位）、0～36（36 方位）以外の値が格納されている場合は、利用フラグに関わらず欠測である。

アメダス 旬・月別値ファイル

■収録内容

地域気象観測所で、1年間に観測された旬・月別統計値を、観測地点別に収録している。

■ファイル名

a10dmYYYY.SSSSS (YYYY：西暦年、SSSSS：観測所番号)

■レコード仕様

記録形式：バイナリ形式（バイトオーダー：リトルエンディアン）

ソート順序：月、旬番号

ファイルサイズ：1旬 508 バイト×4×12 月

■記録形式

◆ファイル全体構造

項目	1月の旬月のレコード					12月の旬月のレコード			
	上旬	中旬	下旬	月		上旬	中旬	下旬	月
バイト数	508	508	508	508		508	508	508	508

項目	観測所番号	観測所種別	予備	年	月	旬番号	旬月別値	旬月別階級区分日数
バイト数	4	2	16	2	2	2	160	320

◇旬月別値データ部

No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)
項目	降水量合計 +RMK	日照時間 合計 +RMK	積雪差合計 +RMK	積雪差の翌 9-当9時合 計+RMK	日平均風速 の平均 +RMK	日平均気温 の平均 +RMK	予備	予備	最多風向+ RMK	積算気温 +RMK	予備	予備	最大日降水 量 +RMK
単位	0.1mm	0.1h	1cm	1cm	0.1m/s	0.1℃	—	—	16方位	注) 1℃	—	—	0.1mm
バイト数	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2

(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)
同左起日+ RMK	最大瞬間風 速+RMK	最大瞬間風 速風向+R MK	(同左起日) +(時分× 10+RMK)	平均蒸気圧 の平均+R MK	平均湿度の 平均 +RMK	最小相対湿 度 +RMK	同左起日 +RMK	最深積雪+ RMK	同左起日時 +RMK	最大10分間 降水量 +RMK	(同左起日) +(時分× 10+RMK)	積雪差日合 計の最大+ RMK	同左起日+ RMK
日×100	0.1m/s	16方位	日時分	0.1hPa	1%	1%	日×100	1cm	日×100+時	0.1mm	日時分	1cm	日×100
2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2

(28)	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)
最大 1 時間 降水量 + RMK	(同左起日) +(時分 × 10+RMK)	最大風速 × 10+RMK	最大風速風 向+RMK	(同左起日) +(時分 × 10+RMK)	最高気温 +RMK	(同左起日) +(時分 × 10+RMK)	最低気温 +RMK	(同左起日) +(時分 × 10+RMK)	日最高気温 の平均 +RMK	日最低気温 の平均 +RMK	予備	予備
0.1mm	日時分	0.1m/s	16方位	日時分	0.1℃	日時分	0.1℃	日時分	0.1℃	0.1℃	—	—
2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2

◇旬月別階級区分日数部

No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)
項目	日降水量+ RMK	日降水量+ RMK	日降水量+ RMK	日降水量+ RMK	日降水量+ RMK	日降水量+ RMK	予備	予備	予備	予備	予備	日最大風速 +RMK	日最大風速 +RMK
条件	≥1mm	≥10mm	≥30mm	≥50mm	≥70mm	≥100mm	—	—	—	—	—	≥10m/s	≥15m/s
バイト数	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2

(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)
日最大風速 +RMK	予備	日最大風速 +RMK	日平均気温 +RMK	予備	予備	予備	予備	日平均気温 +RMK	予備	予備	予備	予備	予備
≥20m/s	—	≥30m/s	<0℃	—	—	—	—	≥25℃	—	—	—	—	—
2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2

(28)	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	(41)
予備	予備	日最高気温 +RMK	予備	日最高気温 +RMK	予備	予備	予備	予備	日最低気温 +RMK	予備	予備	日最低気温 +RMK	日照時間 日合計+ RMK
—	—	<0℃	—	≥25℃	—	—	—	—	<0℃	—	—	≥25℃	<0.1h
2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2

(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)
予備	予備	予備	予備	予備	日最高気温 +RMK	日最高気温 +RMK	日最深積雪 +RMK	日最深積雪 +RMK	日最深積雪 +RMK	日最深積雪 +RMK	日最深積雪 +RMK	日最深積雪 +RMK	日最深積雪 +RMK
—	—	—	—	—	≥30℃	≥35℃	≥3cm	≥10cm	≥20cm	≥50cm	≥100cm	≥200cm	≥5cm
2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2

(56)	(57)	(58)	(59)	(60)	(61)	(62)	(63)	(64)	(65)	(66)	(67)	(68)	(69)
予備	予備	予備	予備	予備	予備	予備	予備	予備	積雪差日合 計+RMK	積雪差日合 計+RMK	積雪差日合 計+RMK	積雪差日合 計+RMK	積雪差日合 計+RMK
—	—	—	—	—	—	—	—	—	≥3cm	≥10cm	≥20cm	≥50cm	≥100cm
2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2

(70)	(71)	(72)	(73)	(74)	(75)	(76)	(77)	(78)	(79)	(80)
積雪差日合 計+RMK	予備	予備	積雪差の翌 9-当9時+ RMK	積雪差の翌 9-当9時+ RMK	積雪差の翌 9-当9時+ RMK	積雪差の翌 9-当9時+ RMK	積雪差の翌 9-当9時+ RMK	積雪差の翌 9-当9時+ RMK	予備	予備
≥5cm	—	—	≥3cm	≥10cm	≥20cm	≥50cm	≥100cm	≥5cm	—	—
2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2	2+2

◆データ説明

- 「観測所種別」、「旬番号」、「RMK（リマーク：値の品質）」、「風向」については、下記符号説明の通り。
- データは、小数点を含まない整数型（有効精度分の整数値）。各項目で、上位 2 バイトに値、下位 2 バイトに RMK が入力されている。
- 最大 1 時間降水量、最大風速及び最高・最低気温の統計値は、2002 年までは 1 時間値（正時値）を用い、2003 年以降は 10 分値（正 10 分値）を用い、2008 年以降はアメダスデータ等統合処理システムに移行した観測地点から順次 1 分値を用いて求めている。
ただし、起時について、旬月別値データ部の(23)については、上位 2 バイトに（日×100）と（時）の和、下位 2 バイトに RMK が入力されており、旬月別値データ部の(14)(27)については、上位 2 バイトに日×100、下位 2 バイトに RMK が入力されている。旬月別値データ部の(17)(25)(29)(32)(34)(36)については、上位 2 バイトに日、下位 2 バイトには（時分×10）と（RMK）との和が入力されている。
- データ項目で観測値がない場合は、初期値（short 2 バイトの 0×7FFF）で埋められている。
【注意】旬月別値データ部の(17)(25)(29)(32)(34)(36)については、上位 2 バイトの起日で 1 つの初期値（2 バイトで 0×7FFF）、下位 2 バイトの（起時分×10 + RMK）で 1 つの初期値（2 バイトで 0×7FFF）となる。
- 一年中観測を行わなかった地点は、統計値ファイルが存在しない
- 積雪差翌 9-当 9 時は、2008 年 3 月 26 日に廃止し、以降予備とする。

注）積算気温では 10 倍した値が入力されている。

- 旬月別値データ部の (18)(19)(20)(21)は 2021 年 3 月 2 日以降格納される。

◆符号説明

◇観測所種別

コード	観測所種別
0	積雪のみを観測する地点
1	降水量のみを観測する地点
2	降水量と積雪を観測する地点
4	風、気温、日照時間、湿度のいずれかを観測する地点
5	積雪に加え、風、気温、日照時間、湿度のいずれかを観測する地点

◇旬番号

コード	旬・月
1	上旬
2	中旬
3	下旬
4	月

◇RMK（リマーク）

コード	品質
0	欠測
1	資料不足値
2	欠測（推計値）
3	資料不足値（推計値）
5	準正常値
6	準正常値（推計値）
8	正常値
9	正常値（推計値）

◇風向 16 方位対応表（静穏は平均風速 0.2m/s 以下）

コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
風向	静穏	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N

アメダス 地点情報ファイル（アメダスデータ等統合処理システム移行地点一覧）

■収録内容

アメダスデータ等統合処理システムに移行した観測所リスト。

■ファイル名

amdmaster.index3

■レコード仕様

記録形式：テキスト（CSV）形式

レコード長：82 バイト＋改行コード（改行コードは 0A（16 進数））

ソート順序：観測所番号

■記録形式

◆レコード全体構造

No.	1	2	3	4	5	改行コード
項目	観測所番号	観測所名 （漢字）	観測所名 （カナ）	観測所名 （ローマ 字）	システム移 行開始 年月日	
バイト	5	20	15	30	8	
開始バイト	1	7	28	44	75	

※それぞれの項目の間にはカンマ(1 バイト分)が入る。

アメダス 地点情報履歴ファイル

■収録内容

全国の地域気象観測所の履歴情報を収録している。

■ファイル名

amdmaster.index4

■レコード仕様

記録形式：テキスト（CSV）形式

レコード長：263 バイト＋改行コード（改行コードは 0A（16 進数））

ソート順序：観測所番号、観測開始年月日

■記録形式

◆レコード全体構造

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
項目	観測所番号	観測所名 (漢字)	観測所名 (カナ)	観測所名 (ローマ字)	積雪の 観測所名 (漢字)	積雪の 観測所名 (カナ)	積雪の 観測所名 (ローマ字)	観測地点を 代表する 緯度	観測地点を 代表する 経度	観測地点を 代表する 標高	風向風速計 の高さ	予備	予備
バイト	5	20	15	30	20	15	30	6	7	4	5	5	6
開始バイト	1	7	28	44	75	96	112	143	150	158	163	169	175

14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
積雪の 観測地点の 緯度	積雪の 観測地点の 経度	積雪の 観測地点の 標高	降水量の 統計の有無	風の 統計の有無	気温の 統計の有無	日照時間の 統計の有無	積雪の 統計の有無	予備	湿度の 統計の有無	観測開始 年月日	観測終了 年月日	旧観測所番 号	降水量の 統計接続
6	7	4	1	1	1	1	1	1	1	10	10	5	2
182	189	197	202	204	206	208	210	212	214	216	227	238	244

28	29	30	31	32	33	改行 コード
風の 統計接続	気温の 統計接続	日照時間の 統計接続	積雪の深さ の統計接続	予備	湿度の 統計接続	
2	2	2	2	2	2	
247	250	253	256	259	262	

※それぞれの項目の間にはカンマ(1 バイト分)が入る。

◆データ説明

- 項目（8）（9）（14）（15）の「緯度」と「経度」は、小数第3位までを入力している。
- 項目（10）（16）の「標高」は、メートル単位の整数で入力している。
- 項目（11）「風向風速計の高さ」は、メートル単位で、小数第1位まで入力している。
- 項目（17）～（23）は、各観測測器の設置の有無を表し、設置されていない場合は「0」、設置されている場合は「1」。ただし、項目（20）「日照時間の統計の有無」は気象衛星のデータ等から作成した推計値を格納する場合は「2」。
- 現在の観測所情報は、項目（25）「観測終了年月日」が「9999-99-99」になっている行に記述されている。
- 項目（26）「旧観測所番号」は、累年統計が接続する旧観測所の番号。観測所番号の変更がない場合には項目（1）「観測所番号」と同じ値が記述されている。
- 項目（27）～（33）は、「旧観測所番号」（観測所番号に変更がない場合は現観測所番号）との間の統計接続の可否を示す。
 - 0：月・年等の各種統計値、極値統計を接続する。
 - 1：月・年等の各種統計値、極値統計を切断する。従来の平年値は用いない。
 - 4：（項目28）最大風速のサンプリング間隔の変更（10分毎→1分毎）、観測単位の変更（1m/s⇒0.1m/s）。月・年等の各種統計値、極値統計を接続する。最大瞬間風速の統計開始。
 - （項目29）最高・最低気温のサンプリング間隔の変更（10分毎→10秒毎）。月・年等の各種統計値、極値統計を接続する。平年値には補正した累年値から求めたものを用いる。
 - （項目30）回転式日照計への切替をした。月・年等の各種統計値、極値統計を接続する。平年値には補正した累年値から求めたものを用いる。
 - 5：（項目28）最大風速のサンプリング間隔の変更（10分毎→1分毎）、観測単位の変更（1m/s⇒0.1m/s）。同時に観測所が移転等したため、月・年等の各種統計値、極値統計を切断する。従来の平年値は用いない。最大瞬間風速の統計開始。
 - （項目29）最高・最低気温のサンプリング間隔の変更（10分毎→10秒毎）。同時に観測所が移転したため、月・年等の各種統計値、極値統計を切断する。従来の平年値は用いない。
 - （項目30）回転式日照計への切替と同時に観測所が移転したため、月・年等の各種統計値、極値統計を切断する。従来の平年値は用いない。
 - 6：（項目30）気象衛星のデータ等から作成した推計値へ変更した。補正量が大きいため月・年等の各種統計値、極値統計を切断する。ただし、平年値には補正した累年値から求めたものを用いる。
 - 7：（項目30）気象衛星のデータ等から作成した推計値へ変更した。補正量が大きいため月・年等の各種統計値、極値統計を切断する。従来の平年値は用いない。
 観測開始時には、旧観測所番号に現在の観測所番号を入れ、各要素とも「1」または「5」または「7」とする。